

基本政策Ⅶ	いきいきと学び、活動するための環境づくり	達成 状況	B
-------	----------------------	----------	---

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の様々な変化に対応していくためには、市民が自ら学び、生活を向上させる「学ぶ力」を育成することが求められます。</li> <li>・地域のつながりの希薄化が指摘されている現状では、相互に理解し協力して地域社会で生きていくための「つながる力」が必要であり、社会教育を通じて「絆」づくりを促進していく必要があります。</li> <li>・地域の課題などが多様化している中で、各個人が学び、つながった成果を活かして地域の課題を解決する「市民力」の形成が求められています。</li> <li>・より多くの市民を学びと活動の循環へ取り込み、さらに市民の学びを活動へつなげるために地域の大学など様々な主体と連携を強め、各区の特色を活かしながら「学ぶ力」「つながる力」「市民力」を育成し、様々な社会教育振興事業を推進する必要があります。さらに、地域の中で自ら社会教育を担っていくことができる人材を育成する必要があります。</li> <li>・生涯学習の拠点作りとして、社会教育施設の老朽化への対応など生涯学習環境の整備を進めていくとともに、職員の専門性や資質を向上することが必要です。また、図書館においては、地域における読書活動の支援をさらに推進する必要があります。</li> </ul>

政策目標
<p>市民の「学ぶ力」を育み、市民の自治力の基礎を培うため、自ら課題を見つけ、自主的に学び、その成果を活かす学びの機会提供を促進します。</p> <p>社会教育の展開を通じて、市民の学びを通じた出会い（「知縁」）を促進し、それが新たな「絆」「つながり」を生み出すよう支援するとともに、地域における社会教育の担い手を育成していきます。</p> <p>社会教育施設の長寿命化の推進など生涯学習環境の充実を図ります。</p>

主な取組成果
<p>識字学習活動など、社会参加の機会を得にくい市民に対して学習の機会を提供するとともに、市民館における市民自主学級や市民自主企画事業の展開など、市民の主体的な活動を支援しました。</p> <p>幸文化センターの空調設備や大ホールの設備の改修工事など、社会教育施設の環境整備を行って市民の生涯学習環境の充実を図るとともに、市民館・図書館における新たな管理運営の在り方について関係部署との協議・調整を行いました。</p> <p>横浜市立図書館と協定を締結し、両市立図書館を市民が相互に利用することが可能となりました。</p>

参考指標					
※ 基本政策の目標の達成度を評価する際に参考とするための数値であり、この数値のみをもって基本政策の成果とするものではありません。基本政策の評価は、事業の進捗状況等を踏まえて総合的にを行います。					
指標名	実績値	H27	H28	H29	目標値(H29)
教育文化会館・市民館・分館の社会教育振興事業参加者数	81,432人 (H25)	79,326人	89,677人	—	85,000人
教育文化会館・市民館・分館で実施する各種社会教育事業（学級、集会など、家庭教育振興事業は除く）に参加した人の数【出典：教育文化会館・市民館活動報告書】					
社会教育振興事業を通じて新たなつながりが増えた割合	—	67.5%	70.4%	—	平成27年度実績の5%増 (72.5%)
教育文化会館・市民館・分館で実施する各種社会教育事業（学級、集会など、家庭教育振興事業は除く）を通じて新しい知り合いが増えた人の割合 ※事業参加者を対象に平成27年度からアンケート実施【出典：川崎市教育委員会調べ】					
市立図書館図書タイトル数	81万件 (H25)	82万件	83万件	—	85万件
川崎市立図書館全館の所蔵図書の全タイトル数。所蔵図書の多様性を表す指標【出典：川崎市教育委員会調べ】					

## 主な課題

市民の主体的な学びを通じて、持続可能で豊かな社会を実現するために、引き続き既存の事業を着実に実施していくとともに、市民による地域の学びの場の創出や学習の成果を地域へ還元できる仕組みの構築が必要です。

市民の生涯学習や地域活動の拠点としての社会教育施設が老朽化していることから、施設の劣化状況調査や市民館大ホール設備の更新など施設の改修を計画的に進める必要があります。

図書館への来館者数が約428万人(H27)から約409万人(H28)に減少している(10月～3月の幸図書館大規模改修工事に伴う施設利用休止による来館者数減を含む。)ため、図書館について資料整備の充実や市民・地域の課題解決を支援する機能の充実など、更なる魅力の向上及び発信に努めるとともに、市民サービスの向上に向けて、市民館及び図書館について新たな管理手法等の検討を進める必要があります。

## 教育改革推進会議における意見内容

まちづくりやコミュニティづくりの視点から、地域の教育力を高めるための事業「地域教育会議」や「地域の寺子屋」と市民館との連携・協力について検討してはどうか。

基本政策Ⅶの政策目標の1つは、社会教育の展開を通じた新たなつながりの創出を支援することであるので、市民館での事業参加者数だけではなく、市民館で活動するグループの数の推移にも注目して事業を進めると良いと思う。

## 今後の取組の方向性

市民館については引き続き地域の生涯学習の拠点として、多様な学習機会の充実や施設の整備に取り組めます。

教育文化会館の大ホール機能がスポーツ・文化総合センターに機能移転されることに伴い、川崎区における市民館機能の在り方等について検討を行います。

市民館及び図書館の管理運営における新たな手法等の導入についての課題を整理し、調査・検討を続けるとともに、図書館については更なる市民サービスの充実に向けた取組の検討を進めます。

**施策1 自ら学び、活動するための支援の充実**

**概要** 区役所や関係部局、大学、NPO等と連携しながら、市民が自ら学び、学んだ成果を地域づくりや市民活動に活かす生涯学習事業を展開し、知縁による新たな絆、コミュニティを創造するとともに、市民自治の実現を担う人材を育成していきます。

事務事業名	社会教育振興事業		
担当課	生涯学習推進課	関係課	
事業の概要	教育文化会館・市民館・分館において、市民の学習や活動の支援、社会教育に係る団体やボランティアの育成、市民のネットワークづくりなどを行うとともに、学習の成果や地域の人材資源の活用を図り、市民の力による地域の教育力とまちづくり力の向上を図ります。		
	<b>H 2 7</b>	<b>H 2 8</b>	<b>H 2 9</b>
事業計画	学習の成果を地域へ還元する人材や、市民自らの手で学習や活動をコーディネートしていく人材の養成に向けた検討	→	
	寺子屋コーディネーターの養成	→	
	社会参加・共生推進学習事業の実施	→	
	市民自治基礎学習事業の実施	→	
	市民学習・市民活動活性化学習事業の実施	→	
	市民・行政協働、ネットワーク学習事業の実施	→	
	社会や地域のニーズに対応した学習事業の実施	→	
	視聴覚教材の活用等学習環境整備事業の実施	→	
	大学等高等教育機関との連携促進	→	
	学習相談事業の実施	→	
<b>実施状況</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民による地域の学びのコーディネートや、学習の成果を地域へ還元する仕組みについて、検討を進めました。</li> <li>● 各市民館等で各種社会教育振興事業を実施しました（受講者112,930名）。</li> <li>● 大学等高等教育機関と連携し、生涯学習機会の提供に努めるとともに、2月25日にアトレ川崎にて公開講座体験のイベントを実施しました。</li> </ul>			
<b>課題と今後の取組</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 既存の事業を引き続き実施するとともに、市民による地域の学びのコーディネートや、学習の成果を地域へ還元できる仕組みの具体化に向け取組を進めていきます。</li> </ul>			

事務事業名	図書館運営事業		
担当課	生涯学習推進課	関係課	
事業の概要	市民の読書要求に応える読書施設としての機能に加えて、地域情報や生活情報などあらゆる分野で市民が必要とする資料や情報の提供発信を行います。		
	H27	H28	H29
事業計画	多様な市民ニーズに応えるための資料の充実・タイトル数の確保		→
	課題解決に役立つ地域資料等の広範な資料の収集・提供		→
	ICT機器を活用した効率的な図書館運営管理		→
	図書館総合システムの円滑な稼働の推進		→
	来館困難者や視覚障害者等への支援サービス実施		→
実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成27年度から引き続き、全館の選書担当者が定期的に中原図書館に集い、所蔵の是非や所蔵冊数等を検討した上で、図書資料を購入することにより、市民ニーズに応えた適正な資料整備を行いました。</li> <li>● 地域資料等の収集・提供、ICT機器を活用した効率的な運営、図書館総合システムの円滑な稼働、来館困難者等へのサービス等について、継続して行いました。</li> </ul>			
課題と今後の取組			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各図書館においては様々な事業を行っていますが、昨年度と比較して来館者数の減少がみられています。(H27来館者数:428万人余 → H28来館者数:409万人余) ※10月～3月の幸図書館大規模改修工事に伴う施設利用休止による来館者数減を含む</li> <li>● 今後も、市民の広範な読書要求に答え、また、市民の課題解決に資するよう、引き続きそれぞれの事業を推進していきます。</li> </ul>			

<b>施策2</b>	<b>生涯学習環境の整備</b>
<b>概要</b>	市民の主体的な学びを支援するため、学校施設の有効活用を促進するとともに、社会教育施設の長寿命化を推進し、生涯学習環境の充実を図っていきます。

<b>事務事業名</b>	生涯学習施設の環境整備事業		
<b>担当課</b>	生涯学習推進課	関係課	
<b>事業の概要</b>	市民の生涯学習や地域活動の拠点として、生涯学習施設の環境整備に取り組みます。		
	<b>H27</b>	<b>H28</b>	<b>H29</b>
<b>事業計画</b>	劣化状況に基づく、生涯学習施設設備の長寿命化対策の推進	→	→
	社会教育施設の管理運営における民間活力の適正な活用方法の検討	→	→
	学校施設の有効活用や学校施設を活用した生涯学習事業の実施	→	→
<b>実施状況</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幸市民館の改修工事について、屋上防水・外壁改修工事、大ホール設備改修工事、空調設備改修工事を実施しました。</li> <li>● 市民館・図書館における新たな管理運営のあり方について、関係局との協議・調整を行いました。</li> <li>● 校庭142校、体育館164校、特別教室137校を開放し、市民の生涯学習活動を推進しました。</li> </ul>			
<b>課題と今後の取組</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会教育施設の計画的な整備及び長寿命化を図るため、施設劣化状況調査や市民館大ホール設備の更新を計画的に行います。</li> <li>● 市民館・図書館における新たな管理運営の在り方については、市民サービスの向上を図るため、民間活力の適正な活用についての考え方をまとめます。</li> <li>● 市民の自主的な生涯学習活動を支援するため、学校施設の有効活用を推進します。</li> </ul>			

<b>事務事業名</b>	社会教育関係団体等への支援・連携事業		
<b>担当課</b>	生涯学習推進課	関係課	
<b>事業の概要</b>	地域における生涯学習の主体として、社会教育関係団体・市民活動組織・NPO等の活動を支援するとともに、相互の連携を図りながら市民と行政の協働によるまちづくりを推進します。		
	<b>H27</b>	<b>H28</b>	<b>H29</b>
<b>事業計画</b>	関係団体との協働や他都市との交流事業など、各種生涯学習機会の提供の支援	→	→
	シニア活動支援事業への支援	→	→
	市民のニーズに応じた多彩な体験講座等の実施への連携	→	→
	全市的な生涯学習情報の収集と効率的な提供に向けた情報提供システム構築の支援、連携	→	→
<b>実施状況</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生涯学習財団やPTA、川崎市女性連絡協議会等の活動に対して、生涯学習機会の提供に向けた支援を行いました。</li> <li>● 市民の生涯学習活動に資する生涯学習情報の収集と提供について、生涯学習財団と連携しながら、システム構築に向けた支援を進めました。</li> </ul>			
<b>課題と今後の取組</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 引き続き、各種団体への支援を行うとともに、連携しながら、市民と行政の協働によるまちづくりを推進していきます。</li> </ul>			